伯國聖市マエストロ・カルチン街二五八（ヴエルゲイロ街）
日伯新聞社
発行所
定價一部一ミル
年百三十ミル
郵税共
外國

Sr. Kobayashi
R. Galvão Bueno, 407

近衛首相の覺悟

國府とは絶縁するが 屈服すれば問題は別

新興政權參加も勝手次第

（東京十九日同盟）近衛首相は十八日午後記者團と會見、對支聲明により重大決意を披瀝したが要旨左の如し

國民政府を潰滅に導くためには軍事行動に限らず凡る工作を進めねばならぬが、國民政府が全面的に屈服して今までの看板を塗替へ新政權の政策政綱を承認しその傘下に馳せ參ずるといふことになれば問題は自ら別である、然しその場合は飽くまで新興政權と國民政府との間の話合であつて日本の關知するところではないから、日本との間に今後和協の起りようはない、支那の背後にある第三國を衝かねば根本的の問題は解決されぬようにはいはれてゐるが、形勢の變化次第第三國の態度は變化するものだから必ずしもそうとは限らない、日英會談は今のところ考へられないが英國人は現實をよく見る國民だからそう窮屈に考へる必要はあるまい、ソ聯も同樣と考へる

和平に未練だらく 國府、虚勢を張る

我方聲明に周章反駁

【上海十九日同盟】帝國政府は十八日午後記者團と會見、對支聲明により重大決意を披瀝したが要旨左の如し

國民政府を潰滅に導くためには軍事行動に限らず凡る工作を進めねばならぬが、國民政府が全面的に屈服して今までの看板を塗替へ新政權の政策政綱を承認しその傘下に馳せ參ずるといふことになれば問題は自ら別である、然しその場合は飽くまで新興政權と國民政府との間の話合であつて日本の關知するところではないから、日本との間に今後和協の起りようはない、支那の背後にある第三國を衝かねば根本的の問題は解決されぬようにはいはれてゐるが、形勢の變化次第第三國の態度は變化するものだから必ずしもそうとは限らない、日英會談は今のところ考へられないが英國人は現實をよく見る國民だからそう窮屈に考へる必要はあるまい、ソ聯も同樣と考へる

【上海十九日同盟】我が聲明に對し國民政府は周章狼狽し早ら十八日中國は未だ和平の望みを棄てぬが、その主權及び土地行政の管理は飽く迄維持する旨發表した、許支那大使は二十日歸國するが在留大使館員に對する帝國政府の取扱ひは外交官たるの身分は認めず一般在留中國人として取扱ふに決定した

中立法發動 米國政府は無關心

【華府十八日同盟】日支兩國大使の歸國に關聯し米國が中立法發動を云々する者あるは事實だが米國政府は何等その問題を考慮してない模樣である

重大聲明と外國の反響

今こそ敵に寛大なれ

ビスマルク的轉回が必要

獨乙新聞の論調

【伯林十六日ハバス一獨乙側諸新聞】は日本の對支新方策に關し極めて要心深い調子で論じてゐるが、日本側の支那奥地へ深入りするのは危險だと勧告し、この際支那に對し寛容な和議を講ずることが必要だと説かしてゐる、この點に關しては「フランクフルター・ツアイツング紙」は支那側は列國の干渉が期待外れとなり今や日本と和平交渉の氣運動いてゐるが、支那側が戰敗者として和平應諾せんとしたのは今回が最初である、日本側にして若も支那側のこの意向を飽くまで拒否するとせば支那は全く赤化狀態となり日本の戰勝の意義は失せてしまふだらう、日本はこの際サドワ會戰後普魯西が墺太利に對し與へた名譽ある和平を以てし、所謂ビスマルク的轉回が必要ではないか、と述べ、ベルゲールス・ツアイツング紙は獨乙の對滿輸出が昨年十月の滿洲國輸入統制發令により大打撃をうけ、之に代つて米國が獨乙の從來の位置に取つて代つた、と經濟的見地から獨乙の對日滿政策に對し多少の懸念を示してゐる

支那は第二の滿洲國 米紙の差挾む疑惑

【華府十七日】ワシントン・ポスト紙は日本の齋介石政權の擁殺の聲明に對し日本は支那に完全なヘゲモニーを掌握せんとする野望を抱き、今やその全貌は赤裸々に示された、結局日本は全支那に亘り滿洲國同樣の傀儡政府を樹立せんとしてゐるものだ

獨乙の橋渡しに感謝

外務當局、和平交渉經過發表

【東京十八日同盟】獨逸政府を仲介とする日支和平交渉に關し帝國の眞意を明にするため外務當局では十九日午前四時左の如き當局談を發表した

國民政府が誠意を以て事件解決の希望を申出来るならばこれを拒むものに非ずと的轉回が必要ではないか

獨逸政府は周章狼狽の聲明に對し國府は周章狼狽支那側も昨日左の要旨の反駁的聲明を發表し虚勢を張つた

帝國は未だ和平の顧望を捨てない、如何なる環境の下に於ても力を盡してその主權及び土地と行政の完備を維持する、而して日本軍占據區域内の如何なる非蔣組織の行爲も中國政府は對内對外共効力を發生しないものと認む

廣東方面に食料飢饉

戰火に先立ち大混亂

省政府、對策に躍起奔走中

【香港十九日同盟】廣東省政府主席吳鐵城は廣東省食料問題解決のため一ケ月前より廣東食料委員會を設定して生産消費の調節特に倉庫貯藏に力を注ぎつゝあるが、同委員會委員沈鳳飛の談によると糧食の缺乏は極度に達してゐる樣で原因として西江、東江、鑑江流域が昨年末氾濫し害虫發生せること、雷州半島、海南島及び北江一帶は非常なる豊作に拘らず水陸運輸困難となれること、碧漢鐵路が軍事輸送に使用され且つ日本飛行隊の爆撃のため湖南、江西、安徽方面から米の輸送困難となつた

海軍の海岸交通遮斷などが擧げられてゐる、萬一同地方に戰火の波及を見ることあらば廣東全市は直ちに恐るべき食料饑饉に陥る憂充分なるため同委員會はこれが對策に非常に腐心してゐる

すつかり佛蘭西式 雲南兵、南昌に充滿

珍・飛行場には木製飛行機配列

【紐育十八日同盟】十八日のエービー南昌電報は南昌を中心とする支那軍防備につき次の如く報じてゐる

南昌市中は數千の雲南兵で充滿してをり何れもフランス製の武器を裝備し、フランス式の鐵兜を冠つてゐる

鄱陽湖には新鋭部隊が配備され鄱陽湖から揚子江岸に向つて蜿蜒と塹壕が堀られ市内には目下六千名の負傷者が收容されてをり、度重なる日本軍の空襲に最近市内の大工を動員し木製の模型飛行機を製造し、これを飛行場に配列日本軍の眼を晦ますんとしてゐる

支那向け英艦に 頻々、怪火事件

支那行忌避の水兵の仕業か

【倫敦十八日同盟】英國海軍省はポーツマス海軍ドックに入渠中の巡洋艦バーミンガム號（九千トン）に最近二回に亘り怪火が起り、同艦は支那艦隊所屬として近く極東に向け出發する豫定を延期の已むなきに至つた旨十八日發表した

最初は本月二日水上機吊揚げ裝置に發火したが大事に

徐州を中心に反撃 最後の一戰交へん

引かれ者の小唄、蔣豪語

【香港十九日同盟】蔣介石はなほも英ソ兩國の援助を期待して第二期抗戰準備を進め、徐州を中心に支那軍全線に反撃命令を下すと共に自ら前線に出馬して二週間以内には前線總攻撃命令を下すと豪語してゐる、この一戰が蔣の進退に重大關係ある模樣で外人側ではこゝ一週間内に國民政府に一大變化を來すのではないかと觀測してゐる

不眠症と神經衰弱 苦惱の許大使引揚げ

國府所在地追つて長途の旅へ

【東京十九日同盟】駐日支那大使は十九日大使館會議室に館員を集めて協議を行つたが館内は明日の引揚げを控へて諸種の荷物が廊下に溢れ、各方面から別離の挨拶に訪れる人々もあつて去り行く者の淋しさを縮めて一際の雑踏を呈してゐる、楊雲竹參事官は正午應接間に記者團を招じ、許大使の代理として許大使が歸國するまでの經過と今後の大使館の態度に就て語つた

許大使は御國を去るに臨んで感慨無量なものがあると私達は推察してゐます、昭和十五年日本へ着任して以來虚弱の身に鞭つて日支の國交調整に努力して來られた、その間不幸にして强度の不眠症と神經衰弱に患り苦惱の身に事變勃發となり想像以上の苦勞をされた、十七日本國からの訓電に接して早速歸國することになつた、大使は恐らく香港から漢口、重慶、長沙と政府所在地を追つて長途の旅へ

至らずして鎮火し、二回目は十五日船艙内の艦載機翼上に石油を浸ました綿屑が上らなければならないだらう、大使が歸國することは我が大使館が引揚げることではない

北京總領事館開設

激増する在留邦人保護

【北京十八日同盟】最近北支に於ける在留邦人の激增に在留邦人の保護及び邦人の經濟的發展に遺憾なきを期するため外交機構の整備充實を計ることに決し、先づ第一着手として來る四月早々北京に帝國總領事館を開設することに決定した、而して初代總領事は森參事官又は木山一等書記官が兼任を命ぜられるものと見られ、その他は現在の大連館員が兼務する筈である、なほ石家莊、太原等も同樣最近邦人の發展目覺ましく、殊に石家莊は既に二千五百人に達しそれ〳〵領事館の開設の豫定である

米艦隊司令官 陸軍武官室訪問

【上海十九日同盟】米國極東艦隊司令官ヤーネル提督は本日午前十一時原田陸軍部官を訪問、約一時間に亘つて懇談を遂げた

なほ舊臘中同じくポーツマス軍港急行中の主力艦クキーンエリザベス號掃海艦ホベー號上でも同樣出火事件があつたあつたとか、原因は支那行きを嫌な水兵の仕業ではなからうか、などゝする新聞報道に對しては一切沈默を守つてゐる

こちらの話

35

前回女の提灯を持つたところ、日伯め餘計な事を書くもんだから、女房スッカリ硬化しちやつて始末にいかん、家庭の平和をみだす樣なことは書かないでくれと小言が來た、悪かつたね、女の提灯を持つちや、それならもう一つ油をかけてやらうッて、在留日本婦人もう少し威張つて居なさい、何しろ、女房のサインが無けりゃ契約一つ出來ない國だ、何時迄も【日本人】【地内】【の】樣に家庭内に燻らされてるなんて法はない、第一鈷では日本とちがつて女房のカケ替へなんてそう澤山にある譯じゃないからおん出される心配はない、少々は無理を云つたて構やしない、今奥地では雨後の筍のやうに日本人會が出來てるが、その内それと同じ樣に婦人會が出來るにきまつてる、ヒョッとすると日本のやうに婦風會てなもの迄出來て、教會の前に料理屋を三味太鼓で囃し立てちやいけないとか、亭主の料理屋通ひを防止するにはどうしたらいゝだらうかなどと云ひ出す會が出來るにきまつてる、私はその内領事館がキット【強化】【婦】【人會】を云ひ出すだらう

と思つてる、でないと男の方ばかりおだてゝおいて、女の方におつてけぼりを喰はしちや片手落だ、サンパウロ市には婦人水曜會といふのがある、この間出來た銭後獻金婦人會といふのもある、これを打つて一丸として纍斷的婦人會を作つて地方に呼びかける、恰も領事館のスキそうな事だ、どうだらう御苦勞序に淀川領事に骨を折つて頂くんだなあ、こうして引立てゝ行く者があれば、喧嘩もするが知らず知らずの内に日本婦人の地位も良くならうといふものだ、此頃はかくれた人で相當教養ある日本人が來てるやうに、女の方でも相當教養あるのがいくらも來てる、これを誰か【中心に】【なる】者が居てこらぬ樣に、官僚臭くないように集めてやればキッと

ものになると思ふ、何れにしても何とかして在留婦人の地位を此國流に向上させ、せめて男と釣合を保たさねばならない、都合の悪いことに總領事を始め臨時ソルティロ、女無しでも夜の明ける人が多いのは聊か不便のようだが、反面に勝手のいゝこともあらう私はいつか移民上りの成金が兎角インテリとよう從いて行かねと書いたことがあるが、常に引張つてさへやれば必ずしもそうとばかりは限らない、藤原義江の來た時、サンパウロの日本婦人がこれをマツピンか何所かに招待して【お】【茶】【の】【會】を【やつ】たところ、下町のお神さん達の着つけから仕草まで、スッカリ板について居たそうで、それそれそれだ、矢張りやらせてみ、出す所へ出して見んことには話にならない、女の方だつて同じこと、これをよくなるものよくすべきものとして總てをやつて行かねばならない、こう書いて來ると、日伯の奴餘程女にやり甘いとみえるなと來るだらう、その通り私や男にやキツイが女には甘いや、無抵抗な女と子供を泣かす奴は一生出世をせぬと自分も固く信じ、人にも云つてる

農家の戰友…
獨乙製噴霧器
プラッツ（攪拌器付）
精巧・堅牢・無比
天下に冠たり
先づ良品の御撰擇が肝要です……
◈御注文は出張員
◈又は直接本社へ
直輸入 日伯社 營業部

チンタは
Pelikan
GÜNTHER WAGNER LTD.
日本人總代理店 日伯社

不況に備へよ！
農家の安定に
ノゲーラ・ブラジレーラを
（一名ノゲーラ・イグアッペ）
利得
A、一域より廿コント以上（年收）
B、アラーメの柵木用として永久の使用に耐ゆ
C、暴風や霜害を防ぐ
D、收穫簡便老人子供にも出來る
播種より販賣まで
一、播種期 何時でも可 地質を撰ばず
二、播種法 二寸内外の間隔に播種三、四寸に成育せし時八米突位の間隔に定植
三、年産 三年後結實二〇キロから五〇キロ、八九年百キロ位
四、收穫 十月頃より落下せしものを拾ふ、腐敗せぬ爲閑散期を利用し得
五、賣價 キロ 二ミル内外
六、生産實の販賣 凡ての製油工場（弊社にて紹介）
ノゲーラ樹は聖州原産のもので生育が迅速でその核からトング油と同樣工業用油が澤山採れ、之を珈琲の周圍に植ゑれば二、三年で柵木代用となり又霜害、强風暴風又はブロッカ虫の侵害を豫防します
優良種子キロ五ミル（エンコメンダ便の際は送料を要すキロ二ミル）
其他各種子の御注文に應ず
御注文は 日伯社營業部 Caixa, 375 - S. Paulo

工業方面への關心

聖州工業が曾に伯國における のみならず南米第一の地位を獲得せることは既に周ねく知られたところであるが、今之を統計に就いて見るに一九三五年度末現在において、工場數七千八百四十、就業職工數二十一萬三千六百人、使用動力量二萬三千七百馬力、投下資本總額三百十八萬八千コント、生産額二百九十一萬八千コントとなつてゐる、その種類も纖維工業を筆頭に皮革業、木工業、金屬器具機械製造、陶土硝子器製造、建築材料、食料品製造、藥化學化粧品、裝飾品製造、電燈電力供給その他百般の工業を網羅し就中纖維工業は最もよく發達してをりその生産額は州工業總生産額の三割を超えるの盛況に在る、元來聯邦政府は國內工業保護政策を以て終始し殊に九三四年より實施されてゐる改正關稅率においては國産品保護の目的を以て免稅特典を極度に制限し、輸入品中國産品と類似のものに對しては絶對に關稅の減免を許さず且つ全製品の輸入に對しては可なり高率な稅を課する等國産品保護の色彩極めて濃厚である

勿論斯かる保護政策は國內全般に及ぶものであるが、特に聖州工業が盛大に赴いたのは珈琲以下農業の發達により州經濟力增大し、手近の消費者たる州民の生活レーベルも他州民に比し割合に高く人口大なること、動力の供給豐富にして州內丼に州外に對する交通比較的發達し海陸における運輸の便大なること、工業原料品の供給容易なること等凡そ工業發達の爲に必要な諸條件を具備せるためである、しかも斯かる好條件に惠まれた地帶に外國資本の流入することは自然の數であり、例へば九三四年度現在外國資本を見るに約二百九十萬コントと概算される、これは事業經營者の國籍別による公稱資本で便宜上伯國法に基く內國會社を設立して公稱資本を少額に登錄し、實際は自國の莫大な資本を流用しをるもの、或は經營者が外國人でありながら內國資本に據るものなど、資本系統錯雜して正確なる數字といふを得ないが、なほ之によつて外資が如何に聖州工業界に活躍しをるかを察知することが出來よう

斯くて近年に至つては州內の需要を充たした上その製品は廣く他州に移出され、その額も總移出額の約四割を占むるに至つたが、一方海外より の輸入品を見るに原料品半製品も相當あるが全製品輸入亦莫大な額に上ることを知る、それには總機類その他金屬製品、藥化學品等內國工業の發達未熟のものもあるが、また纖維工業品、陶土硝子器類以外に於ても既に存在しないがあれば資本と人を得ること必ある場合多であつて、國內工業保護政策も亦從つて强化さるべきこと疑ふ餘地はない、在留同胞中農業より商業に轉ずる人は可なり多いが、工業に志す向は未だ極めて少い、これは單に若干の資金があるから直ちに商業に轉ずる所以でもあるのである、一といふだけでは始まらず自身が技術家であるか或は多數職工を傭つて工場を經營するに足る纏つた資本を必要とし、商業における如く手取り早く着手出來ないためと察せられるが、將來性ある仕事でさへ今後は益々これと緣遠い傾向あるは事實であつて、國內工業へるところであり、この意味から邦人の工業經營斷じて不可能ではないと思ふ、しかもそれが伯國政府の政策にも叶ひ邦人の經濟的基礎を固めるべきこと疑ふ餘地はない、これは若干の資金があるから直ちに商業に轉ずる所以でもあるのである、一般在留同胞の關心事たるに違ない

他州或は海外へ供給し得る可能性十分と認められるものが可なり多いと思考される、本來の自由主義的通商貿易は現在に於ても既に存在しないが今後は益々これと緣遠い傾向あるは事實であつて、國內工業へるところであり、この意味から邦人の工業經營斷じて不可能ではないと思ふ、しかもそれが伯國政府の政策にも叶ひ邦人の經濟的基礎を固めるべきこと疑ふ餘地はない、在留同胞中農業より商業に轉ずる人は可なり多いが、工業に志す向は未だ極めて少い、これは單に若干の資金があるから直ちに商業に轉ずる所以でもあるのである、一といふだけでは始まらず自身が技術家であるか或は多數職工を傭つて工場を經營するに足る纏つた資本を必要とし、商業における如く手取り早く着手出來ないためと察せられるが、將來性ある仕事でさへ

昨年の聖市經濟界は未曾有の記錄的成績

小切手精算高一千百九十万コント

サンパウロ幷にサントス經濟界は去年十月以來際立つて不況に入つたが、それでも一ケ年を平均すると去年は空前の記錄的好成績を示してゐる、經濟界の動向を物語る指標となるものは色々方法あるが、今兩市場における小切手による精算高を見るにその總額一千百九十万三千六百六十四コントで前年度に比し百七十万コントを增加し彼の大恐慌來直前の九二八年度に比ぶれば三百三十二万八千コントの著增である珈琲界が沈滯の色ある昨今の盛況は棉花以下珈琲外生產物の增加、工業界の目覺ましい發達によるものと謂はれる試みに九二八年以降サンパウロ、サントス兩市場における小切手による精算高を表示する（單位コトス）

九二八年	八、五七三、七二〇	
九二九年	七、四四四、五二一	
九三〇年	四、三三八、六〇三	
九三一年	四、六八二、二四四	
九三二年	三、八三六、九四四	
九三三年	六、〇五六、三三三	
九三四年	七、六七七、二一〇	
九三五年	八、七三三、五八二	
九三六年	一〇、三三五、一九四	
九三七年	一二、九〇四、六六四	

物凄い降雹で棉畑忽ち荒廢す

カラムル驛の三十家族路頭に迷ふ

ソロ線カラムル驛より奥十二キロの地點にカエターノ植民地があり全面積一千百餘アルケール、そのうち百アルケールは賣買濟みで地主、借地農歩合作者を合せて八十家族の邦人が二三年前より棉作に從事してゐるが去る十一日午後より降り出した暴雨は大雹を伴ひ、約百アルケール餘りの棉畑は降雹のため丸坊主となり被害を受けた三十家族の人人は呆然として居る

折角丹精した棉畑を一夜にして失つたこの氣の毒な家族のため日本人會では早速臨時總會を開催救濟方法を協議し救濟金を募集する一方今度會費、寄附金、學童月謝を免除することゝし青年會また積立てあつた基本金全部を被害家族へ分配した

臼井、アリアンサ八木橋、チエテ杉谷の諸氏が參加する尚宮坂國人氏の南大河州視察は來る廿二日に延期された」と

大審院の調度入札

靴拭き一コント二百

流石の院長もインチキに仰天

聯邦大審院長ベント・ファリヤ氏は同院の調度購入を入札に付した所、同品物が、商賣人によつて減茶に違ふのでびつくり仰天、例へば

こゝ製の靴拭二個が或者は二コント三百二十、或者はタツタの三百六十ミル、大カーテン十枚で三十六コント、サロンのタペツテが一枚廿コント!!かと思ふと中には十コントといふのもある、そうかと思ふとポルトローナの塗り替へだけで七百廿ミルといふ法外なのもあつたので流石の大審院長も目を白黑、早速入札を無効に付して直接工場と交渉することにした

「獨乙人の眞似しなさい」と植民視察團を聖カタリナへ派遣

ブララ拓營

ブラ拓ガツト參謀本部では愛土安住、多角農經を選拔してサンタカタリーナ方面の獨乙人植民地視察に出かける事となつた、同視察團は來月十五日聖市本部へ集合、十七日サントス發の獨乙船で出發するが、事務所側からはバストス畑中、トレスバラスれるといふので今度四移住地から職員一名、植民代表二名、宮と鏡や太鼓の鳴物入りで宣傳してゐるが、管下四植民地入植者の中には馬耳東風と相變らず棉花や米作一本槍に走り勝ちなもの相當あるに鑑み、これでは將來が思ひやら

ままたヒツト！

聖市全伯野球大會

聯盟より本社へ委任

各チームの希望により

聖市全役員出席の下に八時三十分開催された、先づ野球聯盟强化案本年度全伯大會亞國遠征など諸懸案を協議する本年度第一回全伯野球聯盟役員會は一昨夜常盤ホテルに於て在聖市全役員出席の下に八時三十分開催された、先づ本年度全伯大會に關する件より協議に入り隣意なき意見交換後結局昨年度大會參加チーム代表者の希望に基き、本年度大會の日伯社に委任することに決定した

主催（を決定す）

從つてこれに伴ふ全伯野球聯盟の存續が問題となり種々曲折の後亞國遠征の如き對外關係もあるのでこの際聯盟を一層强化した全伯野球協會を創設するに決定、本協會は在伯野球の一切（少年野球をも含む）を總括統制すべき强力團體であるが、その組織機構は追つて地方球界の意向を聽取參照の上決定することになつた

强姦未遂

尾行の半黑カマラーダ

少女にいどみかゝる

ソロ線カラムル驛奥美和植民學校に於て日本人會青年會兒童合同の新年祝賀式を盛大に挙行したが、午後三時頃學校より歸途についた植民地小三郎氏長女ミサヲ（二）さん及び弟勇（九）君＝いづれも假名＝の姉弟が外人のバストを通り森を通過せんとするや尾行して來た半黑がいきなりミサヲさんにいどみ掛り怪しからん行爲に及んだので子供乍ら

早速入札を無効に付して直接工場と交渉することにした

恩人に仇！

五コント餘を搔拂つて不良青年逃走

過日聖市アルコベルデ街三四〇番在住小倉某氏方を熊本縣人種野惠（三五）と稱して仕事を世話してくれと泣きついた青年があつたので同情した同氏の世話でモルンビー在住地主籠原氏方のカマラーダとして就働してゐたが一昨日午後五時頃籠原氏夫妻が最近歸伯した同鄕人の處へ鄕里の話を聞きにいつてゐる留守中、現金五コントス及び衣類をトランクにつめて逃走した

歸宅して見てはじめてそれと氣がついた籠原氏は附近の人人の應援を得て捜査中の處翌日午後二時頃、同氏所有地内をうろついてゐるを發見したが、同人はトランクを投げ出して逃走した

なほトランクの中には盜難の衣類に混つて同人が四月十二日ガリヤで撮つた寫眞が入つてゐたが、同人は五尺余りの小男で在伯八年と稱してゐる由

護國の英靈に捧ぐ可憐な合力

幼き四組の愛國姉弟

在留同胞の銃後の赤誠はいよいよ燃えて行く折柄、ソロカバナ線バルエリー驛クルス・プレータ小學校生徒酒井シゲ子さん以下同降子、川守田和香子、同說子、平川マツエ、同マサエ、三浦澄子、同アウグスト・エミリオ、清五郎の四組の姉妹弟達十名が「謹んで靖國神社の英靈に貧しき小さい私達の一燈を捧げ奉ります」と手紙に添へて各自一ミル二ミルと醵出した合計十六ミルを昨日總領事館宛送つて來た、左記は手紙の一つである（原文のまゝ）

私はやすくにじんじやにもへりたいけれども遠い國に居るからまへられません私はこんなに遠い國にゐるかららうそくをあげたくてもあげられないからわづかの金ですが、これでらうそくを買つてお供へ下さいおねがひします

二年生　三浦マツエ

井常時だ

青年よ奮起せよ

バストス移住地に柔劍道熱昂る

開拓既に十年を經過し今や奥地移住地として讃されてゐるバストス移住地は野球、陸上戰技等に於てもその名を知られスポーツ植民地として活況を呈してゐるが、ロカバナに於ける物資の集散中心地として活躍する青年聯盟結成を援として中央區に伯國柔劍道聯盟のバストス支部を設置し武德殿を建設すると共に各區團員はそれぞれ劍道部、柔道部と希望する道場に通つて武術を練り非常時氣分を昂揚させてゐる

切手有難ふ

大連の小學生から坂本さん へ御禮

昨年大連市伏見町在住蒲生裕といふ小學生からブラジルの古切手を送つて貰ひ度いと申込んで來たといふ本紙の記事を見て感動した海興の坂元さんは自分が蒐集してゐたものを惜氣もなく送つてやつて子供をよろこばせたが、昨日左の樣な可愛らしい手紙が坂元さんの所へ着いた

切手を澤山お送り下さいまして有難うございました、見さんとお父さんと一緒に早速アルバムにはりました、こちらは今支那との戰爭でたいへんにいそがしくしてゐます、お體をお大事に又切手をお送り下さい

セントラール線に豪華快速列車出現

僅か七時間で突破

聖市リオ

今度セントラール線に伊太利から輸入したデイーゼル機關の快速列車を運轉することゝなり、去る十八日試運轉を行つたが、結果は上乘でリオ、聖市間を八時間十二分で突破、停車驛その所要時間八十分を搾除すると正味六時間四十八分といふ快速である

二台連結で列車全長三十米、モータは伊太利フイアット會社製二台、各百四十五馬力、最高時速九十キロといふ優秀なもの、一台の定員六十三名、座席は折疊み式で食堂にも取外し自在のメーザがあり、冷藏庫、台所道具も全て電力、空氣も電氣で冷熱が調節できる、車體は全部鋼鐵並ヂユラルミン製である

流石セントラール線の惡軌道もこの素晴しい列車は快速を出すにも拘らず頗る安定で快適、なほ本列車の一般旅客に御目見得するのは交通大臣が北伯旅行から歸つてからになる予定

市況

▼…普及會講習會の講師顏觸を見たロの悪い奴「まるで失業救濟だね」とはチトどうかと思ふが、中島清先生のゲーテ論、五十嵐先生の戀愛至上主義論など該博な蘊蓄を傾けられて講習生いやウダるまいことかフウ〜云つてゐると

▼…暑さで氣がふれたのか南阿の金鑛地帶トランスバール國境へ獅子の大群が現はれ住民は戰々兢々とし家畜の被害甚大だと

▼…在住者三百廿家族を擁すべンナボリス聯合日會が昨年中に取扱つた郵便物は五萬九千四百四十一通で、その內譯は發信四千四百九十六通、受信五萬四千九百四十五通である

▼…日本は地震國だなんて威張るが、その上手を行くのはメキシコで同國オアシヤカ州ピノテパオといふ所では舊臘廿三日來既に三百回の地震があり、學校々舍家屋等五十軒も倒壞し住民は戶外に寢てゐる有樣だと

▼…本社主催の小學校優勝野球大會は本年からラツキーボールを使用する事に決定したが、本社の快擧に絕大の贊意を表したブラジア運動具店藤平正義氏は使用球に多額の負擔がかゝつては球道發達を阻止するといふので、從來十二ミルのものを八ミルに値下げ斷行した、なほ同ボールは本社でも取次いでゐる

小麦試作所

聖州內二ケ所に設置

小麦幷に小麦粉は周知の如く伯國輸入品の首位を占め九三六年度輸入高九十七萬トン、金額六十六萬三千コントに達してをり之が防遏は外國貿易尻の上に至大の影響を及ぼすものであるが

聯邦農相フエルナンドコスタ氏は就任以來極力國產小麥の增產に意を用ひ近く聖州內のみに試作場を二十ケ所に設置することゝなりサンパイオ前農務長官に適宜配屬方申越して來た模樣

邦人經營の幼稚園生る

多年教育事業に獻身的努力をつくしてゐる聖フランシスコ學園では近時幼兒教育のますます重大視されつゝあるに鑑み、今般聖市ガルボン・ブエノ街の同學園女子部小學校の校舍擴張を機として新に幼稚園部を新設することゝなり、豫て當局へ申請中のところこの程認可されたので來る二月五日を期して開園することゝなつた

KANAKAO S/A
中尾肥料店改め
御送金の節は銀行手形若くはバレーポスタルにて御願ひ致します最も確實迅速です、コンパロールは商取引上不便で時間をとり發送が遅れます
Caixa Postal, 2186 - Tel. 8-2587
Rua Butantan, 2 - S. Paulo

サンパウロ驛發送値段
倉庫渡しは割引あり

骨粉（聖工場製品）	一トン	常り三要素含有率＝窒素燐酸加里
硫酸加里	五〇、〇〇〇同	五五、〇〇〇同
硫酸アンモニア	五〇、〇〇〇同	五五、〇〇〇同
硫酸アンモニア	四〇、〇〇〇同	四

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 5.a-feira, 20 de Janeiro de 1938 — Num. 1.308

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR — GERENTE
Hisaaki Udihara — Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 70$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

Chinezes residentes no Japão apoiam o governo Provisorio

Tokio, 14 — (Domei) — Em vista da approximação cada vez mais imminente da queda do governo nacionalista, todos os chinezes residentes no Japão, em numero de 100.000 mais ou menos, desde os fins do anno p. findo, estão apoiando o novo governo da China do Norte.

Ao lado disso, a attitude do embaixador chinez, o seu conselheiro, secretario e demais funccionarios, está sendo observada com real interesse.

Sabe-se que no dia 13 do corrente, um funccionario da embaixada chineza, foi secretamente ao escriptorio da companhia canadense de navegação do Oceano Pacifico, existente em Yokohama e pediu seis passagens para o navio que vae deixar aquelle porto no dia 20 do corrente. Consta que essa acquisição é para a retirada do secretario da embaixada, juntamente com mais cinco membros da mesma, dirigindo-se dois para Shanghai e os outros quatro para Hong-Kong.

Quanto ao facto supra-citado, não chegou ainda no ministerio dos Negocios Estrangeiros, nenhuma communicação official, mas devido á importancia das recentes proclamações de governo Imperial, a attitude a ser tomada pelo embaixador chinez é commentada em todos os meios com bastante interesse.

O governo nipponico realisou a Conferencia Imperial, cuja importancia e significação historica não é necessario salientar aqui, afim de estabelecer uma orientação politica definitiva em relação ao governo de Chang-Kai-Chek. Logo a seguir o gabinete e o Quartel General Imperial, se reuniram para melhor coordenar e executar a decisão basica tomada pela Conferencia Imperial Chang-Kai-Chek, não comprehendo a verdadeira intenção do governo Imperial continua, não obstante o passo dado pelo Nippon no sentido de concluir um accordo de paz, a pregar a resistencia e a concentrar forças na região de Hankow. Em vista dessa obstinação do governo nacionalista, o governo de Tokio, foi compellido a tomar a unica e definitiva decisão que lhe restava: o não reconhecimento do governo nacionalista chinez, decisão essa tomada no dia 11 do corrente e no mesmo dia publicada.

Consta da declaração do governo japonez que o governo chinez não ligou ao desejo japonez e em vez de reconsiderar sua attitude, redobrou a campanha anti-japoneza preconizando a resistencia de longa duração, não levando em consideração nem o soffrimento do seu povo, por natureza pacifico e pacato, nem a paz do Oriente Asiatico perturbada, por causa da nefasta acção do Komintern no seio do governo nacionalista. Nesta situação o governo nipponico resolveu esperar a substituição do governo de Chang-Kai-Chek, por um novo regime, que possa, harmonisando a opinião nacional, collaborar intimamente com o Japão. O governo nipponico está firmemente decidido a executar esse plano, traçado após um estudo minucioso da situação.

Em outras palavras, o governo de Tokio, quiz dizer na sua declaração, que intensificará a acção punitiva contra os elementos anti-japonezes, visando a suppressão completa de taes elementos, verdadeiros inimigos da Nação Nipponica, apoiando, de outro lado, o Governo Provisorio, constituido na China do Norte, com o qual cooperará no restabelecimento da paz no Oriente Asiatico. Ao governo nacionalista e seus sequazes o Nippon mostrou a sua decisão de continuar a luta, até o fim, por mais longa que seja. Esta orientação basica vinha sendo sustentada, desde ha muito, pelas forças armadas do Imperio, e hoje ella constitue o caminho indicado para a garantia da subsistencia do Imperio, não podendo, nesta emergencia, dar attenção ás opiniões de terceiras potencias.

Para o Nippon é agora questão de honra nacional e tambem de vida ou de morte, emquanto que as terceiras potencias procuram apenas tirar proveito economico ou politico, por meio de interferencias indirectas ou directas no conflicto do Extremo Oriente.

Os ultimos telegrammas do exterior annunciam que varios diplomatas chinezes se reuniram em Haya, para tratar do emprestimo chinez na Inglaterra e da acquisição de material bellico da U. R. S. S. Não fallando da Russia, a Inglaterra, apezar da sua promessa de auxiliar o governo nacionalista, não se animará mais a fornecer auxilio financeiro a um governo cuja queda está imminente.

A attitude fria da velha Albion em relação a governos sossobrados, é universalmente conhecida, desde o abandono da Ethiopia, quando esta foi conquistada pela Italia. A Inglaterra, no entanto, diz-se protectora dos povos fracos e oppremidos... Mas, não saberá ella que o mundo não é tão cégo, a ponto de não se lembrar das suas conquistas territoriaes do passado? O que realmente interessa ao governo de Londres é unica e exclusivamente a defesa dos interesses britannicos. O governo britannico conquistou numerosos interesses na China, em troca de auxilio financeiro ao governo de Chang-Kai-Chek. O governo japonez, entretanto, acaba de declarar solemnemente que respeitará os direitos de terceiras potencias na China. Pode, por conseguinte, ficar tranquilla a Gran-Bretanha, mesmo que o poder politico da China passe das mãos de Chang para Pekin. E sendo assim, é evidente que a Inglaterra deixará que Chang pereça sosinho, como fez em relação ao Negus...

O ministro Hirota conferenciou com os embaixadores da Allemanha e da Italia, tendo proferido palavras de agradecimentos ás sympathias manifestadas pelas duas potencias amigas.

No caso de ser organisado o governo definitivo da China, em substituição ao actual governo provisorio, em Março proximo, conforme se propala, o Japão e a Manchuria reconhecerão immediatamente o novo governo chinez. Seguir-se-ão a Allemanha e a Italia, e então, o conflicto chinez tomará um aspecto identico ao da guerra civil espanhola.

O governo da China do Norte se encarregará da pacificação do paiz, dominando os elementos vermelhos — "nacionalistas" e communistas.

Qual será a attitude, nesse caso, da Inglaterra, da França e dos Estados Unidos? E' uma questão de maxima importancia, mas, depois do facto consummado, essas potencias que ainda apoiam o governo Chang serão compellidos a reconhecer o novo governo da China.

Seja como fôr, o momento é de extrema gravidade e todo o esforço e o maximo sacrificio da nação são exigidos, para a victoria da causa nipponica.

O Nippon

está disposto a auxiliar um regimem novo da China

Declaração governamental a respeito da attitude a ser tomada pelo Imperio

Tokio, 16 (Domei) — O governo Imperial deu á publicidade a seguinte declaração, ao meio dia de hoje, concernente a attitude do Nippon em relação á China.

"Mesmo depois da conquista de Nankin, o governo Imperial tem continuado paciente até hoje, com o fim de proporcionar ao governo nacionalista chinez, a opportunidade de reconsiderar sua attitude, mas o governo nacionalista, sem apreciar inteiramente as intenções verdadeiras do Japão, persiste, de um modo cégo, na opposição ao Nippon, sem nenhuma consideração quer internamente, em pról do seu povo, em seu triste soffrimento, quer externamente, em pról da paz e da tranquilidade de toda a Azia Oriental.

Consequentemente, o governo Imperial deixará, doravante, tratar com tal governo e, visará o estabelecimento e crescimento de um novo regimen chinez, capaz de uma perfeita coordenação com o Imperio, afim de cooperar na construcção de uma China nova.

Não é necessario dizer que isto não implica em modificação da politica que o Japão adoptou de respeitar a integridade territorial e a soberania da China, assim como os direitos e interesses das demais potencias naquelle paiz.

As responsabilidades do Imperio, no tocante á paz na Asia Oriental são cada vez mais mais pesadas e o governo deseja o esforço redobrado de todo o povo japonez, no cumprimento de seu dever".

A China não se reconsiderou

O Nippon proseguirá na sua acção punitiva

Tokio, 15 — Domei — Para tomar medidas concretas das resoluções fundamentaes tomadas pela Conferencia Imperial, o governo realisou uma conferencia de ligação com o Quartel General Imperial, ás 10 horas de hoje, na residencia do primeiro ministro. Do Quartel General Imperial compareceram o Chefe do E. M. do Exercito, S. A. o principe Kan-in; o Chefe do E. M. da Armada, S. A. o principe Fushimi; general Tada, sub-chefe do E. M. do Exercito; almirante Koga, sub-chefe do E.M. da Marinha; general Machijiri, chefe do Departamento do Pessoal do Exercito; vice-almirante Inoue, chefe do Departamento do Pessoal da Marinha, e da parte do governo, o principe Konoye, presidente do Conselho; general Suguiyama, ministro da Guerra; almirante Yonai, ministro da Marinha; sr. Hirota, ministro do Exterior; almirante Suetsugu, ministro do Interior e o sr. Kazami, secretario geral do gabinete.

Primeiramente, o principe Konoye informou os presentes sobre a situação e depois passou-se ao exame dos processos concretos empregados pelo Imperio.

O governo Imperial, com o objectivo de estabelecer uma orientação definitiva sobre a politica do Oriente Asiatico, resolveu proseguir na acção punitiva contra o governo anti-nipponico da China, deixando, comtudo, opportunidades de a China se reconsiderar. Infelizmente, a China não deu nenhuma prova de que estava reconsiderando sua attitude. Nestas condições, resta ao Imperio proseguir decididamente no plano estabelecido, esclarecendo esta decisão a todo o mundo.

A Conferencia resolveu reunir-se novamente afim de determinar os pormenores da nova orientação politica do Imperio, de accordo com a resolução fundamental acima referida.

O plano de augmento da frota naval norte-americana

Washingnton, 13 — (Domei) — Os que sustentam a theoria do augmento das forças navaes norte-americanas, aproveitando o incidente da canhoneira "Panay", pregam ardorosamente a sua doutrina de "augmento da frota naval". Entretanto, a resolução do governo estadunidense no sentido de augmentar a sua frota naval, é mais acertado dizer, que fundamenta-se na solução da sua crise financeira, apezar de apparentemente constar que os EE. UU. almejam o augmento da sua força naval.

A verdadeira intenção do governo yankee, é incentivar as industrias pesadas, afim de diminuir um pouco que seja, a crise dos desempregados, que com intensidade cada vez maior, assola os EE. UU.

A actual situação dos Estados Unidos, e as respectivas medidas que estão sendo tomadas pelo governo yankee, assemelham-se muito ás que precederam á eleição de Franklin Roosevelt para a presidencia dos EE. UU. em 1933. O presidente Roosevelt está voltando ao programma N. R. A. daquella época, em que o governo empregou a verba de assistencia do orçamento na construcção de vasos de guerra. O orçamento para a construcção de vasos de guerra era de 45.000.000 de dollars, mas na realidade dispendeu a elevada quantia de .... 300.000.000 de dollars tendo sido este procedimento objecto de severas criticas.

Alguns entendidos, em opposição aos que seguem a theoria do augmento de frota naval, esperam que em breve chegará o momento de o governo seguir um plano de diminuição da força naval.

O ministro Hirota

Agradece aos embaixadores da Allemanha e da Italia

Tokio, 16 — Domei — O sr. Hirota, ministro do Exterior convidou os embaixadores Direksen e Auricci, respectivamente da Allemanha e da Italia, á sua residencia, afim de manifestar seus agradecimentos aos dois governos amigos, que desde o inicio do actual conflicto estão ao lado do Japão. Depois, o sr. Hirota explicou o texto da declaração feita pelo governo Imperial sobre a orientação fundamental em relação á China. Após uma cordeal polestra, o ministro Hirota terminou sua entrevista com os embaixadores.

Substituição do commandante do Exercito da Salvação

Tokio, 12 — Domei — O quartel general do Exercito da Salvação communica que o tenente-general Yamamuro pediu demissão da chefia do Exercito da Salvação do Nippon, sendo nomeado o coronel Uemura para o mesmo cargo.

怪奇探偵 幽鬼

仲郷三郎 (畫 梶原 亀)

【15】

煙突男 (一)

「社長、……どうも大問題を惹起しまして、何とも申譯ありません」

支配人の正木は、うや〳〵しく一禮して云つた。何事にも、馬鹿叮嚀に禮をするのがこの男の癖である

「實際困るぢアないか、こんな事にならない中に、主だつた奴を解雇して、頭から壓へつけさへすりやアよかつた」

剛藏は、腹立たしさのやり場を正木の前に見つけたのだ

「それがその……」

「元來、君は優柔不斷でいかんよ、かう云ふ問題には「斷」の一字あるのみだ、溫情主義と云ふものは、自分の手許にゐてこそ溫情主義だが、自分に弓を引くものに迄、振り廻されないからなア、如何に俺がお人好しでも……」

剛藏はかう一氣に云つて仕舞つて、最後の言葉に、自分でも幾分滑稽を感じたらしくふゝゝと笑つた

その笑ひで、幾分の活路を見出した正木は

「全くです、仰しやる通りなのですが、何分にも、彼等の團結が意外に鞏固でありまして……」

「なにが？　團結？　貧乏人や職工の寄合ぢやアないか、たかゞ知れた——」

「勿論さうであります、さうでありますが、その後に勞働黨の奴等がバックして居りますんで」

「勞働黨が何だ！　日本の勞働黨、そんなものは議會の中に首を突込む事が出來た許りぢやアないか、……しかも理論だの鬪爭だのと一人前に云ひながら何等力のない寒山子同樣なのぢやアないか、……馬鹿々々しい」

剛藏は、嚙み棄てるやうに云つて

「正木君、君ア頭を變へんといかんぜ……僕は、君がもう少し出來てゐると思つたよ、ふゝゝゝ」

「いや、恐縮です」

「……全くだよ……要するに金だ、金さへ出しやア解決するんだぜ」

「左樣で」

「全體いくら要るんだ、直截な處を云つて呉れ給へ」

「職工連の要求によりますと賃金の値上げ、割增手當の復活、退職金の制定等いろ〳〵ありますが、差當つて……」

「馬鹿！　そんな要求を取上げるつもりなら、君に相談しに來るのか訊いてゐるんぢやアないか！」

剛藏は、苛々して怒鳴りつけた

「ハツ、ハツ」

正木は、額の汗を拭き乍ら二度も三度も、ぴよこぴよこと頭を下げた

「その方でどうさいましたら、三千圓位でどうかと思ひますが」

「三千圓は、少し高すぎやアしないかね、尤も、要求の金額に比べりやア一割にも當らないがナ」

「左樣で」

「君は、三千圓で、うまくやれる自信があるかね」

剛藏は、新らしき葉卷に火をつけて、默つてゐる正木の顏を睨み乍ら

「勿論あるからさう云つたのぢやらうが……まアいゝ、ことは一つ君の手腕を信賴しよう、手ぬかりなくやつて貰ひたい」

「ハツ、……承知致しました必ず御期待に副ふやうに……」

正木が鮸張つて、頭を下げ乍ら口の中でもぐ〳〵云つてゐるのを、剛藏は天から聞いてはゐなかつた

「金は直ぐに渡しておく」

かう云つて、呼鈴を押し乍ら庭の面を見た、明るい正月の小春日和、廣い庭園を擁した須磨の自邸の應接間では、赤倉から戻つて來た剛藏と、支配人の正木とが、森山紡績爭議團切崩しの相談をしてゐるのだ

× ×

賣住宅地

電車乘合自動車の通ずる最良住宅地長期賣出し開始、場所バイロ・デ・ビラ・マリアーナ、地權確實、御希望の御方には何時でも書類御見せ致します。

御照會は
Rua João Briccola, 10 - 6º. andar sala 629 a 631
御照會は日本文にても可

空前絕後

好條件にてトマテ作り家族者又はソルテイロ募集す
場所＝カンピーナス驛近くシヤバドン耕地
大澤喜作 方
一ケ年後御希望の方には土地の權利及び農具等讓り渡し御相談に應じます、詳細は左記へ
聖市イトピー街四六A
西岡廣一 方

シチオ

農作向六十域アレンダ、牛家、南用良柑多く、乳住宅、高用小川二つ、蜜地聖市近く町に、毎日乘合自動車の便あり、細は菓子店氣付
Dr. Mesquita
聖市 R. da Liberdade, 18

合組館旅次取符切定指社會船商阪大

ロウバンサ市
旭旅館 アラメダ・クレベランド街一五六番 電話五＝三二八〇番
常盤旅館 コンセレイロフルタード街一二番 電話二＝三六九〇番
東京館 マウア街二九一番 電話二＝五六三八番
末廣旅館 コンデ・ド・ピニヤール街一八番 電話二＝五六三八番

母國行便船
北米經由 ぶえのす丸 サントス發二月一日
南阿經由 はわい丸 サントス發二月二日
御歸國の御方は上記の何れかへ御申込み下され出國手續切符顧購入、母國送金、再渡航證明其他必要なる諸一切無料にて御世話いたします

ストンサ市
平和館 ブラサ・ジャゼ・ボニュファシオ街二一
三笠旅館 ブラース・クーバス街二六六番 電話、二九五八番
成功館 セナドール・フエジロオ街三三 電話五二五五番
潮ホテル ブラス・クーバス街二三九番 電話五一八一番

大阪商船 發着廣告

日本へ
北米經由 ぶえのす丸 サントス發 二月一日 横濱着 三月二十七日
南阿經由 はわい丸 サントス發 二月二日 神戸着 三月卅日

日本より
ケープタウンより さんとす丸 神戸發 十月二六日 サントス着 十一月廿日
サントスより はわい丸 神戸發 十月三日 サントス着 十一月一日

詳細は弊社代理店又は下記へ
聖市 伯剌西爾大阪商船會社 (Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda.) Rua Cidade de Toledo, 31 Santos
サントス 伯剌西爾大阪商船會社出張所 (Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.) Filial de São Paulo Rua da Quitanda, 83 São Paulo
リオ Wilson Sons & Co. Ltd. Avenida Rio Branco, 37